

V I A J E

mayo 13, 2018
土井先生の活動日記
Honduras Vol.14

偶然にも同じ時期に母の日です

みなさんこんにちは。5月に入り、チョルテカは乾期が終わろうとしています。12月以降ずっと雨が降ってなかったので、待ちに待った雨期を迎えつつあります。土井先生は相変わらず算数の授業に入って、先生のお手伝いをしたり、計算問題の答え合わせをしたり、自分が配属されている学校以外をまわったりしています。

そんな中、ホンジュラスでは5月の第2日曜日が母の日です。父の日と同じように、母の日にもそれぞれのクラスで贈り物を考えたり、メッセージを書いたりして、感謝の気持ちを伝えます。6年生の子ども達には日本語で「お母さん、ありがとう」という言葉を教えました。スペイン語では「Gracias, mamá (グラシアス、ママ)」と言います。ホンジュラスの子ども達が日本語を話すとなんか不思議な感じがしますね(笑)。

1日前の土曜日に母さんたちを学校に招待して、子ども達が歌を歌ったり、ダンスを披露したり、小芝居をしたりして母さんたちに感謝の気持ちを伝えていました。9年生(中3)の小芝居はまるでコントでしたけど、最後にはいつも迷惑をかけているお母さんへ手紙を読むという感動のフィナーレで幕を閉じました。一方で、片付けをサボっている男子に女子たちが「何やってんのさ! 手伝ってよ!」と一括するシーンもありました。働かない男子にキビシイのはどこの国でも同じみたいですね(笑)!

¡Felicidades poderosas madres! (フェリシダデス ポデロサス マドレス; 祝! 最強のオカンたち)



9年生感動のフィナーレ

日本語で書いてます!